

事務事業名		農地利用集積円滑化事業			会計	一般会計					
課等名		農業課			事業種別	政策		開始	22	終了	
基本計画上の位置づけ		政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり							
		施策	11	支え、育む産業基盤づくり							
目的	対象(誰・何を)	効率的かつ安定的な農業経営を営む者			対象指標	指標名及び単位			24年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	農地の貸借等による利用集積				認定農業者(件数)			27		
	向上させたい上位施策の成果指標	既存農業者の産出額(農業):億円									
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	対象農地面積(ha)				8.11	5	5			
	定性目標										
	<p>農業生産の基盤となる農地が最大限利用されるよう、農地利用集積円滑化団体(JA)等と連携して、農地の利用集積の円滑化を図り、効率的かつ安定的な農業経営が行われるよう支援を行う。</p> <p>○農地利用集積事業 円滑化団体が農地利用集積の実績を上げるよう指導支援していく。また、市は農地所有者等への普及啓発及び関係機関の連絡調整等により事業の推進を図る。</p> <p>○関係機関との利用調整(利用調整会議)及び農地物件の情報交換コア(農地バンク)の運営 農地の利用調整会議を開催し、農地の活用方法に対するマスタープランを構築、推進するとともに、関係機関と連携し農地情報及び進捗状況について共有化を図る。農地バンク等により対象農地の情報収集を行う。</p>										
事業内容					名称			活動指標			
24年度事業内容	1. 農地利用集積円滑化団体の活動推進				対照件数			3件			
	2. 利用調整会議の開催 マスタープランの構築推進及び農地バンクの活用				利用調整会議の開催			4回			
					農地バンク活用実現者			6人			
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		0	0	0	0						
国庫支出金											
県支出金		0									
起債											
その他											
一般財源											
人件費計(千円)②		0		715							
正規職員所要時間				200							
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		0	0	715	0						
事業内容・目標達成状況の振り返り	<p>関係団体による農地利用調整会議を行ったが、農地情報を共有するための機能である農地バンクが、本来の機能を十分に果たせず、結果として利用集積の円滑に行われていないため、利用集積が円滑に行われるよう改善する必要がある。</p>										
改革改善の考え方	①問題点	円滑化団体として平成22年にJAみなみ信州が指定を受け、推進手法が確立された。農地バンクや農地利用マスタープランの検討等、新たな関連事業が発生している。									
	②改革提案	調整会議を定期開催し、農地バンクから現場である地域農家へ着実な情報発信を行い、円滑化団体であるJAみなみ信州を中心に、関連団体と連携した事業推進を行う。									